

静岡県知事
鈴木 康友 様

要 望 書

2025年9月1日
多目的ドーム型スタジアム
建設促進期成同盟会

要 望 書

遠州灘海浜公園篠原地区への県営野球場建設について、浜松地域は長年、県に対し早期実現を要望してきました。

令和6年度策定の公園基本計画では、公園の核となるメイン野球場の規模・構造はタイプの異なる3案が併記され、そのうち「屋外型」は、いずれもナイター照明がなく、利用時間が限られることや、天候の影響を受けることから、利用者にとって使いにくく利便性が低い施設となります。

一方、「多目的ドーム型」は、自然環境に配慮しながら、天候に左右されない点が最大の利点です。さらに、野球をはじめとした様々なスポーツやイベントなど、幅広い用途に活用が可能な「多目的ドーム型スタジアム」にすることで高い稼働率が見込まれます。

また、「多目的ドーム型スタジアム」周辺に道の駅を設置し、JR高塚駅北口の市街地開発とも連動することで、交流人口の拡大や賑わい創出が図られ、県西部地域に限らず県全体の活性化や発展につながります。

本年1月には、県と市による遠州灘海浜公園（篠原地区）利活用推進協議会による協議が始まり、7月からは、民間事業者からの利活用提案を広く求めるための公募が開始されました。

本期成同盟会としましては、協議会においてできるだけ速やかに結論が出るよう、スピード感を持って協議を進めていただき、「多目的ドーム型スタジアム」の建設について、次の事項を強く要望いたします。

記

1. 自然環境に配慮し、天候に左右されない多目的ドーム型スタジアムの建設を早期に実現すること
2. 野球以外の幅広いスポーツやイベントも開催が可能な仕様にする
こと
3. プロ野球も開催できる 22,000 人規模とすること

2025 年 9 月 1 日

多目的ドーム型スタジアム建設促進期成同盟会

会 長 浜松市長

中野 祐介

副会長 浜松市議会議長

高 林 修

副会長 浜松商工会議所会頭

斉藤 薫

副会長 浜松市自治会連合会長

廣野篤男